



2024年5月10日

各位

会社名 株式会社ナカヨ  
代表者名 代表取締役社長 貫井 俊明  
(コード番号6715 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
管理統括本部長 岩本 修  
(TEL 027-253-1006)

## 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、当事業年度の個別業績において、前事業年度の実績値との差異が開示基準に達することとなりましたのでお知らせいたします。

当社は当該期間に係る個別業績の予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値と比較しております。

### 記

#### 1. 個別業績の前期実績値との差異について

2024年3月期通期個別業績の前期実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	11,605	△1,536	△1,302	△953	△214.01
当期実績(B)	17,049	△667	△602	1,611	360.98
増減額(B-A)	5,443	868	699	2,564	—
増減率(%)	46.9%	—	—	—	—

#### 2. 差異の理由

2024年3月期の通期個別業績につきまして、昨年度まで継続していた部材調達難による販売への影響は解消しているものの、ビジネスホン需要が軟調に推移する中、取引先における在庫調整により販売の減少が生じました。さらに、新たな事業基盤として経営資源を重点配分しているスマート X 事業において、顧客課題の深堀や信頼性向上等の商品力強化に伴い、一部の新製品リリースに遅れが生じました。一方、2023年4月1日に当社の連結子会社であったナカヨ電子サービス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、売上高17,049百万円（前期比46.9%増）になりました。

また、利益面につきましては、合併による利益改善や費用削減、製品への価格転嫁を行っているものの、昨年度に部材調達難の環境下で先行手配した部品の納入が進み棚卸資産が増加した結果、評価損が増加、並びに販売機種構成の変動や予想を上回る部材価格の上昇により、営業損失667百万円、経常損失602百万円、抱合せ株式消滅差益2,887百万円、投資有価証券売却益684百万円を特別利益として計上したものの、減損損失1,385百万円の特別損失を計上したこと等により、当期純利益1,611百万円となりました。

以上